

Global Seminar 第2回



AI 時代の外国語学習

—何を苦労して外国語など学ぶ必要があるのか?—

機械翻訳が可能となっている時代ですが、みずから外国語を学ぶ意味はあるはず。

ことばとことばとの間にはどういう対応関係があるのか。

外国語を学ぶことで何が見えてくるのか。考えてみたいと思います。

講師：東京大学名誉教授・武蔵野大学名誉教授 菅原 克也 氏



- ・山形県飽海郡遊佐町に生まれる。
- ・山形県立鶴岡南高等学校卒業。東京大学文学部卒業。東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専門課程博士課程中退。
- ・山形大学講師、東京工業大学助教授、東京大学教授、武蔵野大学教授を経て、現在は東北公益文科大学非常勤講師。日本比較文学会会長。専門は比較文学比較文化。
- ・著書に『英語と日本語のあいだ』『小説のしくみ』『読むためのレッスン』、訳書に『ダブル／ダブル』『冬かぞえ』他。

日時 7月16日（木）18:30~20:00

会場：東北公益文科大学新世紀館 3 階 SALC (Self-Access Learning Center)

対象：どなたでも （定員 先着約 40 名）

参加費：無料

■お申込み

7月13日（月）までに、申し込みフォームにてお申し込みください。 [申込フォーム](#)

URL: <https://forms.gle/LK6y4gLDBDGLnKEq9>



■お問合せ

東北公益文科大学 SALC グローバルセミナー担当

E-mail salc@koeki-u.ac.jp